

平成27年度

事業報告書並びに収支計算書及び貸借対
照表、正味財産増減計算書、財産目録、
附属明細書

公益目的事業 1

駿府博物館の展覧会事業及び教育普及事業

A. 展覧会活動

1. 生誕一三〇年 特別展「川瀬巴水展-郷愁の日本風景」

- 主 催 駿府博物館、静岡新聞社・静岡放送
特別協力 渡邊木版美術画舗
企画協力 NHKサービスセンター、ギャラリーヌーベル
後 援 静岡県教育委員会、静岡市教育委員会
- 会 期 2015年4月4日(土)～6月7日(日)[55日間]
※会期中、大幅な展示替えを行った。
前期:4月4日(土)～5月6日(水) 後期:5月9日(土)～6月7日(日)
- 開館時間 午前9時30分～午後5時30分(入館は午後5時まで)
※初日4月4日は開会式のため、午前10時開館。
- 休 館 日 月曜日(※ただし5/4は開館)、5/7、8(展示替え)
- 会 場 駿府博物館(静岡市駿河区登呂3-1-1 静岡 新聞放送別館2階)
- 入 館 料 《当日券のみ》 一般500円(450円) 高・大学生400円(360円)
中学生以下・障害者手帳ご提示の方は無料 ※()内は10名以上の団体料金
※リピーター割引は本展チケットの半券ご提示で、会期中2回目以降の観覧料が団体料金。
リピーターパス 一般1200円 高・大学生1000円
※リピーターパスは、会期中何度でもご覧いただけるお得なパスポート。
※駿府博物館受付もしくはアピタ静岡店1階サービスカウンターで購入できる。
- 内 容 伝説的経営者スティーブ・ジョブズがコレクターだったことでも知られる、大正から昭和にかけて活躍した版画家・川瀬巴水(かわせ はすい)(1883-1957)の回顧展。本展では、木版作品のほか原画となる水彩画などをあわせて展示し、旅先での巴水の足取りや版画制作の過程にもスポットをあてた。今やどこにも存在しない、しかし懐かしい風景と出会う「日本再発見」の旅を楽しんでいただいた。
- 関連イベント
- 版画の刷り実演「川瀬巴水作品を摺る」【事前申込制・無料】
摺 師 渡辺英次 氏(渡邊木版美術画舗摺師)
解 説 渡邊章一郎 氏(渡邊木版美術画舗社長)
日 時 5月2日(土) ①午前の部(11:00-12:30) ②午後の部(14:00-15:30)
会 場 静岡 新聞放送会館4階会議室
参 加 費 無料

参加者:合計78人(2回実施)
 - ギャラリートーク
会期中、毎週土曜日午後2時から(30～40分程度)学芸員が作品の鑑賞ポイントなどを解説した。

参加者:合計183人(10回実施)

入館者 有料:6,310人 無料:1,043人 合計:7,353人

2. コレクション展「サムライたちの書」

- 主 催 駿府博物館
後 援 静岡新聞社・静岡放送
- 会 期 2015年6月27日(土)～9月6日(日)[62日間]
※会期中、一部展示替えを行った。
前期:6月27日(土)～8月2日(日) 後期:8月4日(火)～9月6日(日)
- 開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休 館 日 月曜日(※7/20は開館し、翌日休館)
- 会 場 駿府博物館(静岡市駿河区登呂3-1-1 静岡 新聞放送別館2階)
- 入 館 料 《当日券のみ》 一般200円 高・大学生100円
中学生以下・障害者手帳ご提示の方は無料
- 内 容 駿府博物館のコレクションの柱の一つが「書」。近世初期の徳川家康、秀忠などの手紙、名僧の墨跡、幕末から明治維新前後の政治家・思想家の書のほか、高塚竹堂、沖六鵬など県内出身書家の作品を所蔵している。本展は当コレクションの中から徳川家ゆかりの人物から幕末・明治期活躍した志士たちの書を展示した。
徳川家康、徳川秀忠、徳川家光、徳川齊昭、徳川慶喜、松平定信、松平不昧、江川坦庵、榎本武揚、勝海舟、山岡鉄舟、高橋泥舟らの書、前後期あわせて39点を展示。
- 関連イベント
- 特別ギャラリートーク
解 説 大谷青嵐 氏(静岡県書道連盟副会長)
日 時 7月19日(日)、8月16日(日) 両日とも午後2時から(40～60分程度)
会 場 展示室内
参 加 費 無料(※入館料のみ)

参加者:合計 54人 (2回実施)
 - ギャラリートーク
会期中、毎週土曜日午後2時から(30～40分程度)学芸員が作品の鑑賞ポイントなどを解説した。

参加者:合計 87人 (12回実施)

入館者 有料:1,159人 無料:238人 合計:1,397人

3. 徳川家康公顕彰四百年記念事業

世にも稀な260年～家康様、未来の文化はここまで来ました！～書道家・紫舟展

- 主 催 駿府博物館、静岡新聞社・静岡放送
企画協力 紫舟アトリエ
コラボレーション作品協力 チームラボ
後 援 静岡市教育委員会

- 会 期 2015年9月19日(土)~11月3日(祝・火)[39日間]
- 開館時間 午前9時30分~午後5時30分(入館は午後5時まで)
- 休 館 日 月曜日(※9/21は開館し、9/24休館。10/12は開館し、翌日休館)
- 会 場 駿府博物館(静岡市駿河区登呂3-1-1 静岡 新聞放送会館別館2階)
- 観 覧 料 一般 800円(720円) 高・大学生 500円(450円)
中学生以下・障害者手帳ご提示の方は無料
※()内は10名以上、団体料金及び前売り料金
- 内 容 本展は徳川家康公顕彰四百年記念事業と位置付け、徳川家康公を意識した新作をはじめ、平面・立体作品、メディアアート等、様々な「書」を展示した。

■関連イベント

●紫舟ワークショップ

- 日 時 10月4日(日) 14:00~16:00
- 会 場 静岡新聞放送健康保険組合体育館
- 講 師 紫舟
- 対 象 小学生~中学生 ※小学生は保護者1名同伴でお願いします。
- 参 加 費 2,500円
- 内 容 書家・紫舟の指導のもと、数十パターンの書体(あたたかい、激しい、切ない等)を自らの手で生み出す練習をした。その後、指導の合間に紫舟が話す家康公のエピソードを聞きながら、大切な人への想いを大きな和紙に綴った。

参加者:合計 70人

入 館 者 有料:2,007人 無料:720人 合計:2,727人

4. コレクション展「風景の美」

- 主 催 駿府博物館
- 後 援 静岡新聞社・静岡放送
- 会 期 2015年11月14日(土)~2016年1月17日(日)[50日間]
- 開館時間 午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休 館 日 月曜日(11/23、1/11は開館し、翌日休館)、年末年始(12/28~1/4)
- 会 場 駿府博物館(静岡市駿河区登呂3-1-1 静岡 新聞放送別館2階)
- 入 館 料 《当日券のみ》 一般 200円 高・大学生 100円
中学生以下・障害者手帳ご提示の方は無料
- 内 容 本展は、セントルイス万国博覧会(1904年)に出品された橋本雅邦「林間残照図」をはじめ、川合玉堂、川端玉章、児玉希望、下村観山、竹内栖鳳、横山大観らが描いた作品のほか、県内ゆかりの版画家が制作した作品など、風景(山水図含む)が描かれた作品30点を展示し、自然の美しさを鑑賞いただいた。また、徳川家康が駿府城を再建してから約100年後(18世紀初頭)の駿府を知る唯一の絵画資料・土佐光成「駿府鳥瞰図」(静岡市指定有形文化財)も特別展示した。

■関連イベント

●ギャラリートーク

会期中、毎週土曜日午後 2 時から(30~40 分程度)学芸員が作品の鑑賞ポイントなどを解説した。

参加者:合計 33 人(9 回実施)

入館者 有料:398 人 無料:107 人 合計:505 人

5. 増井淑乃展「海はみえるか」

主 催 駿府博物館

後 援 静岡新聞社・静岡放送、静岡市教育委員会、焼津市教育委員会

■会 期 2016 年 1 月 30 日(土) - 3 月 6 日(日)[32 日間]

■開館時間 午前 9 時 30 分 - 午後 5 時(入館は午後 4 時 30 分まで)

■休 館 日 月曜日

■会 場 駿府博物館(静岡市駿河区登呂 3-1-1 静岡 新聞放送別館 2 階)

■入 館 料 《当日券のみ》高校生以上 500 円

中学生以下・障害者手帳ご提示の方は無料

■内 容 静岡県焼津市出身の水彩画家・増井淑乃(ますい よしの)初の本格的な個展。色を重ね置いていくシンプルな技法でありながら、彼女が紡ぎだす緻密な筆の線は、まるで編み上げられた織物のように繊細かつ色彩豊かな作品を生み出す。故郷の風景に幾度となく立ち返りながら、水彩表現の可能性を押し広げつづける増井が、本展のために制作した新作を中心に、2010 年以降の作品から約 30 点を展示した。

■関連イベント

●アーティストトーク(増井淑乃ギャラリートーク)

日 時 1 月 30 日(土)、2 月 20 日(日) 両日とも午後 2 時から(40-60 分程度)

会 場 展示室内

参 加 費 無料(※入館料のみ)

内 容 作家本人によるギャラリートーク。作品解説や制作秘話などを話した。

参加者:合計 55 人(2 回実施)

入館者 有料:442 人 無料:313 人 合計:755 人

6. 第39回蘇峰会静岡県書道展

主 催 駿府博物館(公益財団法人 静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団)

共 催 公益財団法人蘇峰会、静岡新聞社・静岡放送

後 援 静岡県、静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会、静岡県書道連盟

■会 期 3 月 15 日(火) - 3 月 27 日(日)[12 日間]

※会期中、大幅な展示替えを行った。

前期:3 月 15 日(火) - 3 月 20 日(日)

徳富蘇峰賞、静岡県知事賞、静岡市長賞、幼稚園・小学生の作品を展示

後期:3月22日(土)-3月27日(日)

徳富蘇峰賞、静岡県知事賞、静岡市長賞、中・高校生、一般の作品を展示

- 開館時間 午前9時30分-午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 3月23日(月)
- 会場 駿府博物館(静岡市駿河区登呂3-1-1 静岡新聞放送会館別館2階)
- 入館料 無料
- 内容 徳富蘇峰の顕彰と書道の発展・普及を目的に開催。応募総数2,983点の中から、最高賞の「徳富蘇峰賞」を含む大賞55点、優秀賞312点、あわせて367点を展示した。

入館者 無料:478人

平成27年度 展覧会 入館者	有料	10,316人	無料	2,899人	合計	13,215人
----------------------	----	---------	----	--------	----	---------

B. 教育普及活動

1. 第12回駿府博物館短期歴史講座

静岡県の近現代史研究シリーズ第3弾「興隆と混乱-明治・大正期の静岡」

- 主催 駿府博物館
- 協力 静岡県近代史研究会
- 会場 静岡新聞放送会館4階会議室(静岡市駿河区登呂3-1-1)
- 受講料 一般 5,000円 大学生・大学院生 3,000円 高校生 2,000円(税込)
※全4回分。資料代含む
- 募集人数 50人
- 内容 学校やカルチャースクールなどではなかなか学ぶ機会が少ない静岡県の近現代史。2013年から当館は静岡県近代史研究会にご協力いただき、幕末・明治以降の静岡はどのような状況であったか最新の地域史研究を交え、広く県民が学べる機会を提供している。
当講座は「静岡県の近現代史研究シリーズ第3弾」で、明治から大正期の静岡県の政治、産業、教育、文化、思想などをテーマに4回にわたって講義した。
- 講義・講師・テーマ
 - 【第1回】2016年1月10日(日)13:30-15:30
「静岡茶業の発展と清水港開港」 講師:常葉大学短期大学部非常勤講師 高木 敬雄
静岡県の茶業発展について、明治はじめから牧之原や川根などの地域に事例を求めて、その歩みと特色を概観した。また、明治中期以降、茶業の機械化進展による茶業の躍進と、静岡茶業の確立を基礎づけた清水港開港の意義を解説した。
 - 【第2回】2016年1月24日(日)13:30-15:30
「静岡県の米騒動、その始まりと再定義」 講師:静岡県近代史研究会幹事 清水 実
静岡県下米騒動の始まりの時期について、掛川大池村を県下初とした従来説とその実態を踏まえ

再検討した。また静岡県下をモデルとして米騒動の再定義を考えた。従来未利用のアジア歴史資料センターの資料も紹介。

【第3回】 2016年2月7日(日)13:30-15:30

『『かもめ』に集うひとたち』 講師:静岡県近代史研究会幹事、掛川東高等学校教諭 村瀬 隆彦
『かもめ』は、加藤まさをが表紙絵を担当し、児童が詩などの作品を投稿できる雑誌であった。1922年から約3年間という短い刊行期間であったが、多くの人を育てた。関係する幾人かを、その後も含めて紹介した。

【第4回】 2016年2月21日(日)13:30-15:30

「田中正造と静岡県」 講師:静岡県近代史研究会幹事 小池 善之
足尾鋳毒事件で有名な田中正造は、しばしば静岡県に来ていた。掛川の代議士河井重蔵や三島の大村和吉郎が正造の闘いを支えていたからであるが、天竜川中流域の銅山でも鋳毒事件が発生していたためである。講義では、田中正造と静岡県の人たちとの関わりを中心に紹介した。

のべ参加者数:100人(1/10:28人、1/24:26人、2/7:19人、2/21:27人)

公益目的事業 2

社会福祉事業及び災害救援活動への助成及び支援

A. 社会福祉事業への助成及び支援

「第53回愛の都市訪問」

社会福祉事業「愛の都市訪問」を実施した。県民の皆様から寄せられた善意の寄付金で寄贈品を購入し、県民の社会福祉に役立てた。県民のボランティアに対する理解を深め、地域福祉の応援とボランティア活動を支援するための物品を寄贈した。今もっとも必要とされているものを必要としているところに届けるため、財団HPと静岡新聞及び静岡放送のテレビ・ラジオを通じて県内から広く公募し、選考委員会で審査のうえ、寄贈先と寄贈品を決めた。

1.寄付金 11,222,817円 繰越金 6,433,789円 合計 17,656,606円

2.寄贈団体 車両・・・7団体 資機材・・・8団体

B. 災害救援活動への助成支援

「ネパール地震災害救援金」

1.平成27年4月25日に発生したネパール中部の地震災害に対する救援金の受け付けを行い、全額を日本赤十字社静岡県支部に寄付した。 救援金 322件 8,000,231円

「台風18号大雨災害義援金」

2.平成27年9月に発生した台風18号の豪雨により甚大な被害を受けた関東とその周辺の被災者を救済するため、義援金の受け付けを行い、全額を日本赤十字社静岡県支部に寄付した。 義援金 379件 8,500,686円

公益目的事業 3

地域のために貢献的な活動を続ける個人及び団体の表彰

「第 5 回ふるさと貢献賞」

地域のために貢献的な活動を続ける個人・団体を表彰する「ふるさと貢献賞」を実施した。表彰は「小中学生の部」「高校一般の部」と、本年度より新たに「企業団体の部」を新設し、3 部門で行った。

表彰団体 「小中学生の部」 8 団体
「高校一般の部」 8 団体
「企業団体の部」 2 団体

収益事業

A. 展覧会印刷物の制作・図録・グッズ販売

- 1.特別展、企画展、館蔵展の出品目録（無料頒布）
- 2.特別展「川瀬巴水展」図録、その他グッズ（委託有料頒布）
- 3.徳川家康公顕彰四百年記念事業「書道家 紫舟展」書籍、グッズ（委託有料頒布）
- 4.企画展 増井淑乃展「海はみえるか」はがき 10 種類制作（有料頒布）

館内業務

1.職員の異動

平成 27 年 4 月 1 日より佐藤阿佑が学芸員として加わる。

2.館蔵品の修理

株式会社墨仁堂(静岡市葵区大岩 1-4-4)に依頼し、以下作品の修理を行った。

・寺崎廣業 「月下吹笛」

以上 1 点

E.館外業務

1.作品の貸与・出品

1)貸 出 先:名都美術館(一般財団法人林美術財団)

作 品:伊東深水「吹雪」

貸 出 品:作品、ポジフィルム

使用目的:特別展「伊東深水-時を見つめた美人画家-」(2015 年 10 月 16 日-12 月 13 日)にて展示及び広報物掲載

貸 出 料:43,000 円(税込)

貸与期間:2015 年 10 月 1 日-12 月 15 日

- 2)貸出先:東京都江戸東京博物館
作 品:土佐光成「駿府鳥瞰図」
貸出品:作品、ポジフィルム
使用目的:特別展「徳川の城～天守と御殿～」(2015年8月4日-9月27日)にて展示及び広報物掲載
貸出料:43,000円(税込)
貸与期間:2015年7月23日-10月1日

2.写真撮影及び掲載等

- 1)貸出先:静岡天満宮
作 品:土佐光成「駿府鳥瞰図」
貸出品:ポジフィルム
使用目的:平成28年度静岡天満宮カレンダー(参拝者へ無料配布。4000部作成)
貸出料:32,400円(税込)
貸与期間:2015年6月1日-6月30日
- 2)貸出先:SBSプロモーション静岡営業部
作 品:土佐光成「駿府鳥瞰図」
貸出品:ポジフィルム
使用目的:徳川家康公顕彰四百年祭「駿府天下泰平まつり」
駿府城公園内「謎解き 家康御殿」内の壁面に同作品の印刷物を展示
貸出料:無料
貸与期間:2015年7月1日-7月10日
- 3)貸出先:国土交通省静岡河川事務所
作 品:土佐光成「駿府鳥瞰図」
貸出品:ポジフィルム
使用目的:徳川家康公顕彰四百年祭「駿府天下泰平まつり」
駿府城公園内の出展ブースにてパネル展示 ※展示パネルの様子をホームページでも紹介
貸出料:32,400円(税込)
貸与期間:2015年7月14日-7月31日
- 4)貸出先:柏書房株式会社
作 品:徳川家康書状「中村式部少輔」宛、徳川家康書状「田丸忠昌」宛
貸出品:ポジフィルム
使用目的:徳川家康の生涯を、彼が残した文書と写真で巡る写真資料集『徳川家康の古文書』(山本博文・堀新・曾根勇二編)(A4横判上製・約300頁・20,000円税別)に収録のため。
貸出料:32,400円(税込)
貸与期間:2015年10月10日-11月6日

5)貸出先:SBSメディアビジョン

作 品:土佐光成「駿府鳥瞰図」

貸出品:画像データ

使用目的:SBS テレビ番組「静岡発そこ知り」内(2016年1月18日 OA)で使用

貸出料:無料

貸与期間:※データによる提供

2.契約事項

- 1.光画コミュニケーション・プロダクツ(株)と図録「第3の男下村観山」販売契約(平成26年1月～)
- 2.(株)江崎新聞店と静岡新聞セット購読契約(平成26年8月1日～)
- 3.総合警備保障(株)と機械警備契約(平成26年12月24日～)
- 4.総合警備保障(株)と警備機械リース契約(平成27年1月2日～)
- 5.リコーリース(株)とコピー機のリース契約(平成27年1月1日～)
- 6.静岡放送(株)と事務所及び展示室の賃貸契約(平成27年1月1日～)
- 7.ユニー(株)アピタ静岡と駿府博物館チケット販売業務委託(平成27年1月1日～)
- 8.(株)ケイエムアドシステムと静鉄バスの車内アナウンス契約(平成27年4月1日～)
- 9.杉山明喜雄公認会計士事務所と顧問契約(平成27年7月～)
10. 杉山明喜雄公認会計士事務所とTKC会計システムFX2のリース契約(平成27年7月1日～)